

空港、港湾、鉄道、高速道路、さまざまな交通インフラが連携し、スムーズな輸送システムを実現する本市は、「集貨(貨物を集める)」と「創貨(企業の立地により、新たな貨物を創り出す)」をさらに進め、**国際競争力のある持続可能な「物流拠点都市」**に取り組んでいます。

# 空

## 九州・西中国の物流拠点空港を目指す 北九州空港



**ここがすごい!** 北九州空港は、九州・西中国で唯一24時間利用可能な海上空港で、仁川(インチョン)国際空港(韓国)を往復する国際貨物定期便が運航しています。令和2年度の国際貨物取扱量は1万3700トン(前年度比約2.5倍)と過去最高を3年連続で更新しています。

### 何を運んでいるの?

航空貨物はスピード重視。パソコンやスマートフォンなどの精密製品、肉・魚・野菜・切り花などの生鮮品、マスクや防護服などの医療物資、衣類や嗜好品などの季節ものの商品などが運ばれています。



### ■世界43カ国とつながる

アジア最大級のネットワークをもつ仁川空港を経由して、なんと世界43カ国、120都市に貨物を運んでいます。

### ■シー&エアの初輸送は人工衛星!

船舶が接岸できる北九州空港は、船と飛行機を組み合わせたシー&エア輸送が可能です。NASA(アメリカ航空宇宙局)とJAXA(宇宙航空研究開発機構)が共同開発した人工衛星はアメリカから空輸され、ここで船に積み替え、種子島宇宙センターへ海上輸送されました。

### 北九州空港の未来

北九州空港では、現在、国による滑走路の延長計画(2500m→3000m)が進められています。実現すれば、アメリカやヨーロッパへの貨物直行便の運航が可能となり、将来の「九州・西中国の物流拠点空港」に向けた大きな一歩となります。



▲港湾空港局空港企画課 橋本 歩実さん

### ミニコーナー

#### ボーイング747のスケールがすごい!

国際貨物定期便(北九州⇄仁川)は、毎週水・木・土曜日の午後に、大型貨物機と呼ばれるボーイング747やボーイング777でやってきます。月に1~2便のチャーター便では、1ページのようなダイナミックな姿を見ることができます。

### 北九州空港滑走路延長計画への意見を募集中

現在、滑走路延長計画への意見を募集中です。詳しくは、九州地方整備局のホームページ(右記を読み取り)で確認できます。募集期間は8月16日まで。



担 港湾空港局空港企画課 ☎582・2308

# 海

## 地域の発展を支える 北九州港



**ここがすごい!** 豊富な航路を持つ「太刀浦(門司)」と大型船の入港が可能な「ひびき(若松)」の東西2つのコンテナターミナル、西日本最大級のフェリー基地「新門司」などの充実した港湾施設を持つ北九州港。年間の貨物取扱量約1億トンは、全国5位、西日本ではトップの実績を持つ港です。

### 何を運んでいるの?

「鉄のまち」として発展した本市の港らしく、鉄鉱石や石炭、LNG(液化天然ガス)といった工業用原料の輸入が目立ちますが、家具や雑貨などの取り扱いも年々増えています。輸出では、金属製品や鋼材などが運ばれています。

### ■世界へ34航路150便(月間)が就航

コンテナターミナルからは、韓国、中国、台湾、東南アジアの国々へ向け、34航路、月間150便もの定期コンテナ船が行き交っています。

### ミニコーナー

#### 北九州港にいる“キリン”の群れ

コンテナターミナルの岸壁に巨大な“キリン”の群れを発見!?いえいえ、その正体は最大60m超の長いアームで荷物を積み込む「ガントリークレーン」という巨大な荷役機械です。アームを伸ばす様子が「キリンの首」を連想させることから、いつしかそう呼ばれるようになりました。



### ■全国7都市を結ぶ、フェリーの大基地

長距離フェリーの発祥の地「北九州港」。特に「新門司」は東京、大阪、徳島などを結ぶ西日本最大級のフェリー基地で、RORO船(トレーラーなどを運搬する貨物船)による自動車輸送の拠点にもなっています。一方の「ひびき」もRORO船が沖縄に就航するなど、国内外と接続性の良い航路として知られています。



▲新門司⇄横須賀 今年7月就航

### 北九州港の未来

北九州港周辺では、自動車関連産業を始めとした企業進出が盛んです。また、響灘地区では風力発電関連産業の総合拠点化も進み、洋上風力に関わる産業の創出など、市の経済活性化につながる明るい話題が満載です。



▲港湾空港局物流振興課 岡本 真一係長

担 港湾空港局物流振興課 ☎321・5941

# 陸

## 充実の陸のネットワーク 高速自動車道路網 北九州貨物ターミナル駅

**ここがすごい!** 本市には、本州、東九州、西九州をつなぐ充実した高速自動車道路網と、鉄道貨物の拠点である北九州貨物ターミナル駅があります。物流は、トラックを中心とした陸上輸送が大部分を担っていて、市の産業や市民生活を支えています。

### 九州-本州間を行き交うすべての貨物列車が停車する駅

九州の拠点貨物駅である「北九州貨物ターミナル駅」は福岡、熊本、鹿児島方面、そして大分、宮崎方面へと九州全域に貨物を送り出しています。九州・本州のすべての貨物列車が必ず止まる駅で、便数は九州最大です。大型海上コンテナ専用ホームもあり、北九州港と連携したシー&レール輸送も行われています。



▲北九州貨物ターミナル駅

### 陸上輸送の未来

将来的には、トラックの自動運転やドローン配送など、新しい形の陸上輸送の実現が期待されています。今後も本市の潜在力を最大限活用し、物流拠点化を推進します。



▲産業経済局物流拠点推進室 柿野 光昭係長

担 産業経済局物流拠点推進室 ☎582・2296